

貸借対照表

令和 4年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	16,868,000	18,144,292	△ 1,276,292
未収金	104,745	41,481	63,264
たな卸資産	847,156	1,137,196	△ 290,040
前払費用	468,600	468,600	0
流動資産合計	18,288,501	19,791,569	△ 1,503,068
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
書籍製作準備資金	3,250,000	1,500,000	1,750,000
特定資産合計	3,250,000	1,500,000	1,750,000
(2) その他固定資産			
建物	253,088	323,481	△ 70,393
保証金	410,832	410,832	0
ソフトウェア	942,552	1,716,048	△ 773,496
その他固定資産合計	1,606,472	2,450,361	△ 843,889
固定資産合計	4,856,472	3,950,361	906,111
資産合計	23,144,973	23,741,930	△ 596,957
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	273,731	284,474	△ 10,743
未払費用	33,572	31,746	1,826
未払消費税等	147,500	213,500	△ 66,000
預り金	96,329	0	96,329
流動負債合計	551,132	529,720	21,412
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	551,132	529,720	21,412
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	22,593,841	23,212,210	△ 618,369
(うち特定資産への充当額)	(3,250,000)	(1,500,000)	(1,750,000)
正味財産合計	22,593,841	23,212,210	△ 618,369
負債及び正味財産合計	23,144,973	23,741,930	△ 596,957

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価方法は、最終仕入原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却方法

定額法を採用している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理については、税込経理を採用している。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
書籍製作準備資金	1,500,000	1,750,000	0	3,250,000
合計	1,500,000	1,750,000	0	3,250,000

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
書籍製作準備資金	3,250,000	(0)	(3,250,000)	(0)
合計	3,250,000	(0)	(3,250,000)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	628,517	375,429	253,088
ソフトウェア	4,947,480	4,004,928	942,552
合計	5,575,997	4,380,357	1,195,640

附属明細書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	書籍製作準備資金	1,500,000	1,750,000	0	3,250,000
	特定資産計	1,500,000	1,750,000	0	3,250,000
その他固定資産	建物	323,481	0	70,393	253,088
	保証金	410,832	0	0	410,832
	ソフトウェア	1,716,048	0	773,496	942,552
	その他固定資産計	2,450,361	0	843,889	1,606,472